

留学生と語り合う

No.53

RKK ニュース

(2013 年秋号)

NPO 法人 留学生と語り合う会(RKK) Relationship and Kindness are the Kings of peace

第18回「日本語指導法講習会」始まる

The 18th Lecture Class of Japanese Teaching method has started



10月5日
から12月
にかけての週末、
RKK 慣例の「日
本語指導法講
習会」が始ま
りました。今年
は教室予約が混
み合っていて

とりにくく、やや不規則な日程となったものの、講師の名講義に耳を傾ける講習生の熱心な姿で、教室は活気に満たされています。最近各地の団体で、日本語指導者のための同様の講習会開催が盛んになっていますが、RKKの講習のように、基礎から系統的に文法を踏まえて学べるものは、ごく少数だと思われます。河島講師の豊富な指導経験や、体系的な授業構成に負うところが大きいでしょう。今回は講師からも一言寄せて頂きました。

「外国語でコミュニケーションをとるためには、そのことばのルールを守って話さなければなりません。母語話者はルールなど意識せずにことばをあやつっています。外国の人に質問されたとき、意識したことのないルールを説明するのはとてもむずかしいことです。母語話者といえども、ある程度の勉強が必要です。教えるのはルールそのものではなく、使い方です。教え方にはテクニックがあります。また、ことばは文化と切り離せません。日本語には日本語独特の使い方があります。講習会では、日本語の特徴とその教え方についてお話しします。日本語を外国語として見直してみませんか。いろいろな発見があると思います。」

(日本語指導グループ)

The annual lecture class of the Japanese teaching method has been held from September 5th to December. The time schedule of the class is a little irregular due to difficulties with room reservations. Students' attitudes seem to be serious, and they listen attentively to the lecture. The classroom is lively and practical. Although similar classes, like those of RKK have become popular now. There are very few classes, where beginners can learn the basics of grammar. The RKK class depends greatly on the instruction experience of Prof. Kawashima and systematic design of the content as well. She kindly wrote a short comment as follows:

In order to take communication in a foreign language, you should speak based on the rules of the language. The native speaker can speak without being conscious of the rules. When you were asked by foreigners, it is very difficult to explain the rules that you have not been conscious of. Some study is necessary for even a native speaker. The teaching matter is not the rule itself, but technique in how to teach. Moreover, language is inseparable from culture. There is a usage of Japanese unique to Japanese. At the lecture class, I will talk about the features of Japanese and how to teach. Would you like to relearn Japanese from a foreign learner's perspective? I expect that you have to make various discoveries.

(Japanese Language Instructor Group)

お知らせ	第9回RKK日本語スピーチ大会 日時：11月17日(日)9:30~12:30 場所：かながわ県民センター 301会議室 第1部：留学生、非留学外国人による日本語のスピーチ発表と 講評(山田光義、元横浜国大教授) 第2部：交流会、 茶菓子をつまみながら自由に歓談のひと時を持ちます。	RKK文化祭 日時：11月17日(日)13:30~16:00 場所：かながわ県民センター2F かながわ国際ファンクラブ 出展：日本文化の紹介と体験 (折り紙、絵画、書道、茶道、 囲碁、将棋など)
------	--	---

留学生からのたより

金融学に興味あり。日本での就職活動頑張りたい

田 若 農 (中国) 横浜国立大学大学院国際社会科学府



高校生の時に1997年東南アジア金融危機と投機家ソロスのことに関する文章を偶然に読みました。その時から金融に興味を持ちはじめました。大学で、「金融学」に関する知識などを学んでいるうちに、勉強がすごく面白くなってきて、将来銀行や証券会社に就職したいという思いが膨らみました。そして、夏休みなどを利用して、中国銀行や中国農業銀行に行き、銀行の仕事を体験させてもらったこともあります。その体験から、私は自身自身の専門知識がまだ不十分であることに気づいて、大きな刺激を受けました。大学卒業後、日本に留学することを決めました。

2011年に日本に来て、今までもう2年間余りです。この2年間、私はいろいろなことを経験しました。それとともに自分も成長しました。毎日の生活は単調だけど、充実しています。今年の就職活動がもうすぐ始まるので、がんばらなければいけません。日本で自分の人生の中で最初の仕事を探したいです。この目標を実現するために一生懸命頑張ります。(原文のまま)

AN APPRECIATION TO RKK

Jan Legaspi (Philippines)



The school I am a head now has become bigger. It is for elementary and high school. I am glad to know you are a volunteer of RKK. I was with RKK before when I was there. I learned a lot from that organization. In fact, I still receive a newsletter coming from the officer even up to this time. There was a speech contest in Japanese which I participated before. It was very tough but the experience was great. I also joined in several factory visits. There was also a weekend when I stayed with another Japanese family where they hosted me. It was a wonderful year with RKK. I will always be thankful to RKK.

留学生の皆さんへ／For International Students

Volunteers に日本語個人指導を受けてみませんか。

RKKは下記の日本語指導 (Japanese Language Tutoring) を行なっています。

- ・ 日常会話 (Daily Conversation) ・ ビジネス会話 (Business Conversation)
- ・ 卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Thesis & Report)
- ・ 新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)

その他に、工場見学／社会体験 ・ 留学生との交流イベント等を開催しています。

詳しくは、Home Page(Web Site) [RKK NPO](#) [検索](#) を参照ください。

連絡先(Contact) 津田(Tsuda)

e-mail : sakura_tudakei@ybb.ne.jp

社会工場見学

私の日本留学、および東京証券取引所の見学について

慶応義塾大学 ポーアマル・ハッサン (Bouamal Hassan)

私はモロッコ出身のポーアマル・ハッサンと申します。今年4月から日本に留学して、慶応義塾大学大学院政策メディア研究科に所属しています。今三田キャンパスで日本語を勉強し、来年進学したいと考えています。

日本語の勉強を始めたのは2005年ハッサン二世大学の3年生でした。当時私はイスラム学を専攻していましたが、ある日、日本語教室の前に貼ってあったポスターの文字に興味を持ちました。最初は日本語はどんな言葉かだけを知りたくて、始めたのですが、その後、だんだん夢中になって、まじめに日本語という船に乗って漕ぎ出しました。

2008年に慶応義塾大学湘南藤沢キャンパスの奥田敦教授の研究室によって行われたアラブ人学生歓迎プログラムに参加して、その時から、日本に留学したいと思うようになりました。今その夢がようやく実現しました。

実は、高校の時に、地理学の先生はアメリカと日本の経済を比較して、日本は国土が狭い、資源が少ないということを考えると、世界で一番大きな経済は日本だと言っていました。その時から日本の経済や文化などに興味を持つようになりました。

今回、東京証券取引所の見学に参加させていただき、まことにありがとうございます。日本経済のメインステージ東京証券取引所を見学して、本当に嬉しかったです。東京証券取引所の歴史に関してビデオを見て、証券市場の仕組みと機能についての説明もありました。東京証券取引所が設立してから移り変わりとして務めている人は何をしているかを知りました。いつもテレビで見ている施設内のユニークなデザインを実際に見て、面白かったです。その上、株の売買を体験して、85万以上をもうけました。RKKの参加者やく30人中、4位でした。

また、今回の見学で異文化の人と出会い、良い機会だったと思います。そして、証券取引所のバッジ等のお土産を買って、良い思い出になりました。これからも他の見学に参加したいと考えています。よろしく願います。(原文のまま)

RKK見学会－東京証券取引所を見学して

【社会・工場見学グループ報告】

このたびは、東京証券取引所(東証)を見学しました。特に、文系留学生からは工場以外の見学希望もあり、それに応じました。東証では、施設や仕事の状況の見学のみならず、学生向けのレクチャー(証券市場の仕組みと機能について)があり、学生に非常に有意義であったと思います。また、コンピュータシミュレーションによる株式投資体験もできました。今回は非常に多く(43人)の参加申込みがありました。ただし、実参加者は急用等で少なくなりましたが。なお、次回(11/9)は『秋の散策』として、田谷の洞窟(大船)等を探ります。留学生にお知り合いがありましたら、ぜひ、ご一緒にお出かけください。(RKKのHPご参照)



見学会のお知らせ

- ・見学先 環境エネルギー館または森永製菓*、總持寺(鶴見)
- ・見学日 12月24日(火)(*申込日の関係上未定)
- *詳細は、見学会案内書、RKKのHPをご覧ください。



私の日本語指導

湘南地区交流会 伊藤 麻夕子



今年の4月より日本語指導を始め、半年ほどが経ちました。今は、中国出身の2人の生徒さん（留学生と社会人）とそれぞれ週一回ずつ、日本語学習をしています。

お二人とも出身都市が違うので、それぞれの地域の話や、日本に来てからの日常の事など、いろいろ話してくれる内容を聞きながら、私自身も、毎回楽しませてもらっています。

ここ最近で興味深かったのは、留学生がアルバイト先の「接客マニュアル」を持ってきた時のことです。そこに書かれている言葉

の意味や言い方を教えてほしいということだったので、通訳と一緒に見ていきましたが、初めて見る「接客マニュアル」というものに、私も興味津々でした。

なかには、難しい言い回しや、普段はあまり使わないような敬語もたくさんあり、日本語の勉強を始めて間もない外国人の方には、これは難しいのではと思う一方、テキスト以外にも、日本語学習のいい教材となるものがあることに気づきました。

時には、思わぬことを質問されて、うまく説明できないこともあります。その度に、普段は感じることはない、日本語の難しさ、奥深さを感じます。

「日本語を教えることは難しい。でも楽しい！」毎回そう思わせてくれる彼女たちに感謝しながら、これからも日本語指導を続けていければと思います。

地区からの便り

地区交流会の企画にパソコン勉強会をチャレンジ

西地区交流会

西地区 荒井藤樹

RKK 西地区は「RKK 留学生と語り合う会」が産声を発した戸塚区と泉区、栄区に在住する会員で現在 男性12名、女性14名 計26名で構成されています。

4月、7月、10月、1月の年4回（機関紙発行月）最終日曜日Pm1:30~4:30の定例地区交流会を旧戸塚区役所近くにある戸塚区社会福祉協議会施設「フレンズ戸塚」の会議室を会場に開催し、会員相互の親睦、情報交換の場とし毎回の参加者は14~16名で「継続は力なり」をモットーにフレンドリーで元気のRKKの諸活動に取り組んでいます。

新年度最初の4月の地区交流会で地区活動計画を話し合うなかで“パソコン不得手なの”“メール作成中突然画面が消えてしまった、また添付作業をマスターしたい”“デジカメで撮った写真をメールに添えたいのだがテキストを見てやってもなかなか”“交流会でパソコン勉強会をやれないから、是非やって欲しいなー”との強いリクエストが女性会員から寄せられ、スタッフ間で“地区会員相互のコミュニケーションの活性化、スキルアップ向上にもプラスと前向きに考えましょう！！”ということでパソコン勉強、相談会の企画、準備が始まりました。

催行に向け準備を始め、次回の地区交流会開催日、平成25年7月28日(日)をパソコン勉強会相談会の実施と決定し、まずチューターを含め5名の担当者を決めました。女性1男性4計5名。次に参加希望者数、何がわからないのか、何を期待するののかのニーズの把握等するために簡単なアンケートも行い結果を検討調整し、当日 Pm 1 : 30 ~ 3 : 00 の約2時間の大雑把な進行表をスタッフ間のメールのやり取りで立ち上げました(少々雑だったかなとも後で反省)。



骨子は① 名称は“パソコン相談会”として定員は設けない、② 参加者は日常使うパソコンを当日会場にもちこみ教材として使用する。(チューターも同じ)、③ 会場の利用環境の確認“インターネット等の回線の状況、パソコン稼働可能数確認、貸しパソコンの有無など”、④ 必要備品等のCK、購入備品手配準備、⑤ 参加費用 今回は無償とする。

勉強会当日は朝から真夏日も予想されるなか受講生6名、チューター5名、一般会員4名がPm 1 : 00頃から三々五々集まり始めそれぞれ準備を開始。1 : 30 0刻に最初はマンツーマン、各自のテーマに取り組み端末キーの打音が始まる。奇声有り嬌声有りチューターとのやり取りも熱を帯びてくる。ついにはチューター同士のやり取りも加わり相談会も佳境に突入。パソコンの端末はメーカー、機種、製造年月日により一つの操作が微妙に異なる事に皆納得。チューターも新たな発見に喧々譁々勉強会の進行も一時ストップの有様。そして、あっという間に終了予定の時間も過ぎる。

完璧とは行かないものの作業過程の操作を自分の目で見てキーをたたいた結果を画面で実感する事は出来たようだ。今後も時間を見てこのような企画を是非続けて欲しいとの声に担当者も反省もある中、まずホッと一息。Pm 3 : 30 第2部の通常地区交流会を開始、16名の参加で議事は“パソコン相談会の反省”から始まった。女性会員のサービスの茶菓がのどの渇きを癒すなか交流会は進められて行きました。

けんしゅう center しやしんてん こうりゅうかい 研修センター写真展・交流会

きたちく 岩永教昭

8月25日、県国際研修センターにおいて、2013年写真展表彰式と交流会が開催され、出展された北地区山口孝一会員と岩永が出席しました。4回目となる今回は、「ホーム」とのことで、8月1日より50点の作品がセンターで展示されました。

当日の交流会には、出展者やボランティア団体、留学生など約40人の参加がありました。加えて、数日前に来日した海外技術研修員3人(中国、モンゴル、ルワンダ)の参加もありその紹介も行われました。



新入正会員のみなさまへ：よろしくお願ひします！

入会正会員：澤口昌弘(綾瀬市)、川本寛美(南区)、市橋寛子(戸塚区)、頼田敏之(金沢区) (敬称略)

私の中国語学習

＜何時の日か中国語が上手に話せるように。。。そしてそれを目指して！＞



中国語学習G・鈴木次男

私が中国語学習を始めてからもう10数年になるのかな!? そもそも中国語を始めたきっかけは、仕事で中国(広東省・広州市)に約2年半駐在して帰国後の1998年頃だったと思います。

中国語学習と言っても最初の5~6年くらいはNHKテレビの中国語会話番組を見る程度でした。しかし定年後は時間を持て余すだろうと考えて月2回ほどの中国語教室に通いました。そして2006~7年頃RKK会員の紹介でRKK中国語学習教室へ参加しました。

中国語教室での学習は、月平均で約3回程度の学習ですが、もう7~8年も学習していることになっています。しかしながら、どうしても上手に中国語が話せません。自分なりに考えたのですが、幾ら多くの単語・語句・文章を暗記しても「発音・声調」が正しくなければ相手(中国人)に通じないことは明白です。教室での学習は単語・語句・文章の学習(暗記)ではなく、中国語を話す・聴く学習(練習)が必要です。

今年から新しい講師(鄭雅蘭老師)を迎えましたので、山崎スタッフと相談して、今年からの学習の目標として「話して通じる中国語・聴いて分かる中国語」を目指して「発音・声調」を重点的に学習するように鄭雅蘭老師に私たちの希望を伝えて了解してもらいました。

現在の学習方法は出来る限り正しい「発音・声調」で単語・語句・文章を読む・話す学習(練習)をしています。何時の日か中国語らしい「発音・声調」で中国語が話せることを夢見て頑張りたいと思います。

その為には、これからも中国語学習をもっと頑張らなくちゃ!(我會更努力學習中文!)

私の文化交流

りゅうがくせい いっしょ classic おんがく たの
留学生と一緒にクラシック音楽を楽しみました



ご本人の希望で孫健美さんは毎月1回「日本語会話の練習」を行なっています。これは日本人とのお付き合いのためだそうです。従って話題は何でもあります。

そこに出現したのが私が賛助会員になっている戸塚オーケストラを聴くというプランです。当日はRKKからはプロモーターの鈴木さん以下会員、留学生併せて十数人が参加しました。この日の圧巻は何と言ってもベートーベンの第5「運命」で、始まる前に孫さんには聴く人を奮い立たせるそのすごさを多少オーパーに解説しておきましたが、どんな印象だったかはご本人の感想文をお読みください。(大田)

Beethoven き ベートーベンを聞いて

孫健美 (横浜国立大グローバル経済学博士課程)

私が子供の時から、テープやCDで音楽を聞くのが大好きですので、小学校時代に、何年間かピアノを習いました。その時に、演奏練習が一番多いのはベートーベンの作品でした。先日、私はストレスが溜まったため、少し落ち込んだ時に、大田様が「ベートーベンの交響曲第5番「運命」を聴きに行きますか。」と誘ってくれました。そのとき、「ダ・ダ・ダ・ダー」の音を鮮明に思い出し、「はい」と答えました。私にとって、オーケストラのシンフォニーを聴くのが初めてではないですが、ベートーベンの第5番「運命」を聴きに行くのが初めてです。大田様のお陰で、戸塚オーケストラの演奏は大変素晴らしいと思います。暗から明へのような4楽章構成は運命に負けないで、努力しようという意識を伝えたいと感じましたので、また元気を出しました。(原文のまま)

留学生と日本の架け橋賞受賞

湘南地区

9/26(日)にひらつか市民活動センター10周年記念「センターまつり」が開かれ、「留学生と語り合う会」が表彰状「留学生と日本の架け橋賞」を頂きました。恒例のRKK平塚七夕祭りなど留学生とその家族の支援、交流が評価されました。現在も吉澤顧問が中心になり、外国語によるミニ読書会を行っています。(池添尚行 記)



おもな活動(2013/8～2013/10)まで

理事会

◇8/25 サポートセンターにて、2013年度第1回定例理事会が開かれ、RKKの活動の特徴は、留学生との絆を深めるために、日本人会員と留学生が1対1の交流をすることが基本であることを確認した。

スタッフミーティング

◇9/22 午後、サポートセンターR306にて25人のスタッフの参加のもと、2013年度第2回スタッフミーティングが行われ活動グループ、地区交流会、委員会それぞれからの報告・連絡そして相談事項について話し合った。ディスカッションタイムには「RKKニュースおよびRKKホームページ」についての情報の共有化と意見交換がなされ、今後の改善が期待された。

活動グループ

◇日本語指導G: 第18回日本語指導法講習会(全10回)が10月5日から始まる。

11/17 予定の日本語スピーチ大会の準備活動。

◇ファミリー交流G: 7/6 湘南ひらつか七夕祭りに総勢50人が参加。RKK文化祭の企画・準備活動。

◇中国語学習G: 9月から本年第2期が始まり、新たな授業内容のもと14人が受講中。

◇社会・工場見学G: 7/31 東京証券取引所を見学。26人が参加。

地区交流会

◇東地区: 8/5に定例の交流会および親睦会を実施。

◇西地区: 7/28に会員向けパソコン勉強会を兼ねた交流会を実施し好評を得た。10/20交流会を実施。

◇南地区: 8/4地区交流会を実施。留学生・日本人会員のリクルート活動も積極的に展開。

◇北地区: 9/14 国際研修センターでの研修生受入れ交流会に出席。10/26に地区交流会開催予定。

◇中央地区: 9/29に年2回の地区交流会をサポートセンターで開催。

◇湘南地区: 9/19に交流会を藤沢にて実施、8人参加。次回は12/10を予定。

(次ページへ続く)

委員会

- ◇会員委員会：9/22 地区マッチング担当者連絡会を実施。スタッフ2人が新任された。
- ◇広報委員会：RKK ニュース 53 号の編集作業。経費削減策およびホームページの活用策検討。
- ◇企画委員会：寄付・賛助金の提供をPR。
- ◇会計委員会：10/15 中間監査を実施。
- ◇事務局：理事会・スタッフミーティングの開催。「入会の手引き」など各種書類の更新。

日本語指導とマッチング状況（2013. 4～2013. 9）

今年度4～9月においては、58人の会員が留学生92人、社会人8人の計100人を指導しました。また、この期間におけるマッチング成立は、39件となりました。9月時点においては、指導希望会員（指導余力のある会員を含む）に対し留学生が不足となっており、会員の指導余力を見ながらの留学生募集活動が必要な状況となっております。ちなみに、チューター一人当たりの平均指導人数は9月5日時点で1.56人でした。指導状況の変更などにつきましては、引き続き各地区のマッチング担当と連絡を取っていただきたくお願いいたします。

（矢野 記）

RKKホームページに「会員のひろば」オープン！

ひろばを通じて留学生に対する支援、交流体験のほか、コンサート、映画、絵画など趣味の情報交換にも利用出来ます。会員限定のページです。掲載希望の会員はメッセージをRKK広報委員会スタッフにお知らせください。

投稿先メールアドレス:sugita1526@ybb.ne.jp

掲載ホームページhttp://homepage3.nifty.com/rkk/

謝辞

このほど友松会顧問 金子禎様からRKKニュース作成費の一助にとご寄付をいただきました。ご厚意に感謝いたします。ありがとうございました。

会員募集中

正会員：RKK活動にご興味をお持ちの人には「入会の手引き」・会報や最近の行事案内などをお送りします。詳しくはRKKホームページをご参照下さい。

賛助会員：RKKの趣旨に賛同され、賛助金として一口（年度額一口1,000円）以上を提供いただきますとRKKニュースを定期的にお送りいたします。

郵便振替口座記号番号：00290-2-140517 加入者名：留学生と語り合う会

よこはま夢ファンドのご案内

横浜市にはボランティア団体の活動支援を目的とした“よこはま夢ファンド”という制度があることをご存知でしょうか。本ファンドへの寄付を通じてRKKの活動を支援して頂けます。ご協力をお願いします。詳細は、[よこはま夢ファンド](#) [検索](#) でご覧ください。 （企画委員会）

NPO法人 留学生と語り合う会

RKK 連絡先：〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

Eメール：rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax: 045-813-8327

ホームページ：<http://homepage3.nifty.com/rkk/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集：RKK 広報委員会 秋号担当 村田威雄 Oct. 24, 2013